

『みさき公園に新しい魅力を』というスタッフの思いが開花

スタッフが育てたヒマワリが見ごろを迎えます！

南海電鉄(社長: 巨 信二)が経営する「みさき公園」(泉南郡岬町 / 園長: 吉本昌史)では、動物園内に植えた約1,500株のヒマワリがまもなく見ごろを迎えます。

このヒマワリは、「お客さまに『夏ならではの』の季節感を感じていただける魅力を作りたい」「園内に花を増やし、より一層動物園巡りを楽しんでいただきたい」と同園のスタッフたちが提案し、今年4月に種を植え、真心込めて育ててきたものです。

スタッフの熱意と愛情が詰まったヒマワリが演出するみさき公園の初夏を、ぜひお楽しみください。

同園では、お客さまにより楽しく園内を巡っていただくため、スタッフ全員で園内の魅力作りに励んでいます。今後もヒマワリの栽培をはじめとした、お客さまの笑顔を満開にできるような様々な取り組みに挑戦していきたいと考えています。

【ヒマワリがお楽しみいただける場所】

ロバ舎～シマウマ舎の柵沿い・メモリアル資料館周辺・伊藤園シャイニースタジアム周辺



ロバ舎の柵沿いに植えられたヒマワリ